

今後進めていかなければと考えているのは、在宅支援です。保育所に預けるのも大変ですけど、0歳から2歳の在宅育児もすごく大変じゃないですか。在宅支援のメニューやツールはこれからも出てくると思うので、区としても活用し

阿倍野区の子育てに関して、区長が感じている課題は何ですか？

今までは起きた事件に対していろいろな制度を作るという「対策」が私の主な仕事でした。正直、子育てや児童虐待防止というのは本来地道な取り組みを積み重ねていくべき仕事だと思っています。ですから、今ある地域の取り組みや資源の活用を地道に続けていきたいです。保育と教育の連携だったり、相談事業の拡充だったり…。非常に地味な仕事ですが、やっぱりそこが大事だと思っています。



土日には子どもを、子ども子育てプラザや公園、イベントにもよく連れていきました。子どもにはいろいろな体験をさせるのが大事だと思っています。私も子どものころ、親にいろいろなところに連れていかれた経験があります。子どもはちよつと見たもの

に感動したりワクワクしたりするけど、今はすぐに情報が入ってくる時代です。それを否定せずに入ってくる情報量に見合う体験をさせてあげたい。見てさわって、リアルな体験をどんどんさせてあげたいと思うんです。



今日は貴重なお時間をいただき、ありがとうございました！

▲ご自身も子育て中の青柳区長

取材を終えて

子どもに関する政策にこれまで従事されていた方が区長に就任され、とても心強く、これからの阿倍野区にさらに期待したいと思いました。

途中息子がウロウロしてしまいましたが、温かく見守っていただきやさしさにあふれた方だと思いました。子どもたちへの思いを聞き、これからも阿倍野区で子育てしていきたいという気持ちが強くなりました！



まち絵本ができるまでの過程も掲載していますぜひ見てください！



▲まち絵本のクラウドファンディングページ 10月31日(木)23:59まで

ままちっちょ出版

クラファンに初挑戦中！



各ひろばにまち絵本のサンプルあります！見に来てくださいね

ちよつと聞いて～！

A. 朝の出発前の時間。洗濯乾燥が終われば洗濯物の片付けを。洗い物が溜まっていれば洗い物を。子どもがパジャマなら着替え保湿を。「できる時にできる人がやる」スタンスでいつも助けられています(2児のまーち)

特別企画 阿倍野区・青柳毅区長に子連れde突撃インタビュー



青柳区長と一緒に記念撮影！

令和6年4月に新しく就任された阿倍野区の青柳毅区長ってどんな方？阿倍野区の子育て環境や施策について、1歳の子もたちと一緒にインタビューしてきました！

まずは青柳区長ご自身について教えてください。以前はどのようなお仕事

大阪市役所で教育・子ども施策に長く携わってきました。教育委員会に12年、こども青少年局に17年。こども青少年局では子育て支援・児童虐待対策

に携わり、子どもの貧困対策や病児保育の拡充にも関わってきました。その間、大阪市でもすごく痛ましい児童虐待事件が起きました。いろいろな施策を作るたびに、新たな課題も出てきました。どのような施策があれば子育ての大変さ・しんどさを軽減できるのか、をずっと考えて取り組んでいましたね。

阿倍野区の子育て世帯のイメージ、そこから考える阿倍野区に必要な子育て支援はどんなものですか？

そうですね、子育て世代の方と関わりとすごく穏やかな印象があります。阿倍野区にはあべのハルカスやキューズモールもあり、その一方、阪堺電車が走っていて、閑静な住宅街もある。こんないろいろなものがバランスよく揃っている区は他にないんじゃないかと感じます。0〜14歳の人口も阿倍野区では微増しています。まさに子育てしやすいということだろうな

阿倍野区で暮らす子どもたちにどのよう育ってほしいと思いますか？

いろいろなことを体験して、いろいろな人の話を聞いて、自分のものにして生きてほしいと思います。子どものころに体験したことは、イヤなことでもいざ自分の成長の糧になります。

子育て世代のみなさんには、「子育て環境が充実している阿倍野区で子育てしている」と思っていてほしいです。本場に地域のつながり、横だけだけでなく、縦のつながりというの

と。現在、阿倍野区の今後4年間の将来ビジョンを作っているところですが、柱のひとつは「子どもや若者が伸びやかに育つまちづくり」だと思っています。また、私自身がずっとこだわっているのは、教育と福祉の連携です。教育と福祉をつなげることが私の課題意識です。つなげることでも大事で、そこからはじまるのがいっぱいあると思っています。

本当はまだ一緒にいたいけど、0歳でないと園に受からないから仕事復帰するというママがたくさんいます。国の役割かもしれないんですが、この現状なんとかならないでしょうか？

国の制度です、と言ってしまえばそれまでですが、区の立場では保育所を増やそうとすることくらいしかできない。でも気持ちはいままでがいはんかわい時期です。あとはどれだけ保育士さんの処遇を上げて、人を確保できるか。保育所を作るなら保育士さんの確保が現実問題としてありますから。

阿倍野区で子育てするメリットはどんなことだと思いますか？

阿倍野区はいろいろな企業が子育てに協力してくれている区だと感じています。地域貢献やイベントにも協力的。また、阿倍野区のサイズ感もいいなと思います。すぐにいろいろなところに行ける。さらには子育て支援団体がたくさんあり、子育て支援連絡会が繋がっておられる。連絡会は発足から20年以上ということ、大阪市全体を見たときに、ここまで活動が活発なことは、すごくアドバンテージだなと思っています。



▲終始にこやかにお話ししてくれました

ちよつと聞いて～！

Q.「これ助かってる！パパの子育てにまつわる仕事」